



元教員のコンサルタント

澤田 真由美さん(36)

## 先生に働き方改革のススメ



東京都出身。2003年、小学校教員に。経験を生かし、15年に「先生の幸せ研究所」を立ち上げ、コンサルタントとして学校の働き方改革に携わる。

先生の働き方を変えようと、各地の学校を回り研修や講演を重ねている。

きっかけは東京の小学校で教員になった頃の自分自身だ。平日は午後10時まで働き、土日もたびたび出勤。仕事に追われてミスを重ね、保護者からの

先生の働き方を変えようと、各地の学校を回り研修や講演を重ねている。

苦情におびえた。3年で退職した。結婚して大阪へ。本を読みワーク・ライフ・バランスの考えに出会った。

「仕事も生活も充実させるなんて、できるとみようと、出産後、教壇に戻った。

復帰直後、生後9カ月の長男が体調を崩した。慌ただしい中での保護者会。率直に打ち明けると、親たちが応援してくれた。先生だって自分のことを話していいんだ——。以前は接するのが怖かった保護者に背中を押された。

定時に学校を出て、他校の先生たちと授業の進め方を学んだり、会社員や大学生と交流したり。それを児童や保護者との関係づくりを生かして、先生の仕事が初めて楽しいと思えた。

一方、周りの同僚はかつての自分のように疲弊していた。自分の経験を役立てたいと、コンサルタント業に転身した。今も学校では、時間をかければかけるほど良い教育ができるという考えが根強い。「先生にゆとりができることが、子どもたちの輝きにつながることを伝えていきたい」

文・写真 沢木香織

記者から

仕事も生活も充実させる。簡単ではありませんが、実践者だからこそその説得力を感じました。